



第3学期修了式式辞 ～前向きでいれば、何かが変わる～

1年間、大変お世話になりました。来年度も変わらぬご支援をお願いいたします。

【抜粋】皆さんは、この選手をご存じですか。2019年に日本で行われたワールドカップのスコットランド戦で、最後に試合をキックで終わらせた日本代表の山中亮平選手です。山中選手は、ユニークなキャラクターでファンから人気を集めると、その後の活躍もあり、2023年のワールドカップフランス大会でも出場が期待されていました。ところが、いざ登録メンバーが発表されると、そこには山中選手の名前はありませんでした。実は、発表前に落選を知らされていた山中選手は「頭が真っ白になった感じ、今でも思い出したらつらい。死にたいくらいへこみました。」と当時の心境を語っています。そんな山中選手を心配し、元日本代表の仲間たちが駆けつけ、言葉をかけてくれたそうです。そして、その声掛けによって前向きな気持ちになることができ、SNSで「ワールドカップフランス大会のメンバーに選ばれませんでした。この1週間いろいろ考えて、このまま諦めるのは性に合わないので、山中は2027年のワールドカップを目指します。自分に何が足りなかったのか。もう一度自分を見つめ直す。年齢とかそんなん関係ない。できるできへんじゃなくて、やるかやらんか。ラグビー人生、第3章のスタートです。」と思いを吐きました。一度は諦めたフランス大会でしたが、開幕するとイングランド戦で山中選手と同じポジションの選手が負傷して戦線離脱し、急きょ山中選手が招集されたのです。最終戦の後半残り10分で出場した山中選手は「10分でも意味のある10分だった。」と振り返りました。まさに、山中選手は「前向きでいれば、何かが変わる」を体現したのです。



さて、皆さんは3学期の始業式でお願いしたことを覚えていますか？1年生は、先輩となるべく自覚を高め、学習面と行動面での準備をしてください。2年生は、吹上中の顔となるべく自覚を高め行動で示し、立志スキー宿泊学習を成功させてください。そのためにも『凡事徹底』、もう一度原点に戻って、「AKB」を徹底的に取り組んでいきましょう。「AKB」達成のために、先生や親に言われてからではなく、今まで以上に「自立」し、更に「自律」へと変われるよう、行動内容も含めて自ら考え行動できるようになってほしいと思っていますとお伝えしました。

そこで、春休み中にやっておきたいことをお伝えします。学習面では、春休みの課題は計画的に着実に行ってください。そして、長期の休みは復習のチャンスです。しかし、復習と言っても全てをやるのは大変です。1年間が集約されている定期テストや実力テストで振り返るといいでしょう。生活面では、生活リズムを崩さないよう、春休み前に立てた計画を基に生活してください。時間に余裕があるからと言って夜更かしは厳禁です。生活リズムを崩す一番の原因です。そして、一番大切なのは、新年度の目標を立てることです。誰もが新年度には心改め「頑張ろう」という気持ちになるものです。いいスタートを切るためにも、何を頑張るのか、より具体的に目標を設定できるかが重要な鍵になります。

私も来年度に向けて、目標を設定しました。「あいさつ」「家庭学習」「部活動」のAKBは継続して行います。そこに、「自立」と「自律」の心を加え、自ら考え、場に応じて心をこめた『あいさつ』、課題を見つけ取り組む『家庭学習』、協力して全力を尽くす『部活動』とレベルアップし「超AKB」とします。そして、本年度に引き続き、日本一「誰からも愛される学校」、「地域に誇れる学校」を目指していきます。ぜひ、皆さんも新年度の目標を立ててみてください。

以上、最後になりますが、春は別れと出会いの季節です。お世話になった先生方や仲が良かったクラスの友人と離れ離れになるかもしれませんが、この教室、この校舎で築いた絆は変わらないし、同じ空でつながっています。落ち込んでもいい、迷ってもいい。しかし、必ず支えてくれる人がそばにいます。山中選手のように、前向きでいれば、何かが変わります。



自ら考え、**超**

- A** 場にに応じて心をこめた 『あいさつ』
- K** 課題を見つけ取り組む 『家庭学習』
- B** 協力して全力を尽くす 『部活動』

○社会を明るくする運動作文コンテスト
入選 ○○○○

○男女共同参画標語コンテスト
優秀賞 ○○○○

○学校給食週間(作文の部)
優秀賞 ○○○○○、○○○○、○○○○、
○○○○、○○○○、○○○○、
○○○○、○○○○、○○○○○、
○ ○○、○○○○、○○○○、
○○○○○、○○○○、○○○○
○○○○

○学校給食週間(ポスターの部)
優秀賞 ○○○○、○○ ○

○栃木市理科研究展覧会
優良賞 ○○○○
優秀賞 ○○○○

○下都賀地区理科研究展覧会
優良賞 ○○○○

○県小中学生ウエイトリフティング競技秋季大会
中学女子の部49kg級 第1位 ○○○○

○県ウエイトリフティング競技冬季大会
中学女子の部49kg級 第1位 ○○○○

○野木オープン卓球大会
シングルス 第3位 ○○○○○

○県中学1年生バレーボール大会
男子優勝 下都賀地区選抜A ○○○○、○○○○
女子優勝 下都賀地区選抜B ○○○○○

○書初中央展
金賞 ○○○○○、○○○○、
○○○○、○○○○



○書初展覧会栃木地区展
推薦 ○○○○○、○○○○、○○○○、
○○○○
特選 ○○○○○、○○○○、○○○○、
○○○○、○○○○、○○○○

○栃木県学校教育書写書道作品展
優秀賞 ○○○○○

○下野教育美術展(デザイン)
銅賞 ○○○○、○○○○
奨励賞 ○ ○○、○○○○、○○○○、
○○○○、○○○○○、○○○○○、
○○○○、○○○○、○○ ○、
○○○○○、○○○○、○○○○、
○○○○、○○○○○、○○ ○、
○○○○、○○○○○、○○○○、
○○○○○、○○○○○、○○○○○、
○○○○○、○○○○○

入選 22名



令和5年度9月よりハンドボール部と卓球部が部活動地域移行のモデル部として活動してきました。令和6年度9月からはバドミントン部が加わり、3部がモデル部となる予定です。お陰様で専門家のご指導により技術向上等の大きな成果が得られました。次年度も、本年度の成果と課題を踏まえて、本校運動部活動の更なる飛躍を目指して活動していきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



第77回卒業式 ～体育館に響いた校歌～

3月11日、無事に卒業式を終えることができました。コロナ禍が明け、歌練習がしっかりできるようになり、久々に校歌が体育館に響き渡りました。本校校歌は「伊吹の山よ 標芽が原よ 古歌もなつかし みどりの山河」とあるように、次々と情景が浮かんできます。その校歌を歌いながら「あと何回、この校歌が聞けるんだろう。」と感慨深くなりました。生徒代表の「送辞」「答辞」では、先輩と後輩、仲間や家族との絆の深さを感じ、心温まる卒業式となりました。今まで大変お世話になりました。

